

## 第2号議案

### 調整力等に関する現地調査（米国）の実施について

（案）

調整力の今後のあり方等に係る検討のため、以下のとおり、調整力等に関する委員会の関係者および本機関職員を米国に派遣することとする。

1. 調査内容 長期から短期までの調整力等必要量の考え方  
自然変動電源の拡大に伴う調整力等に関する議論の状況 他
2. 期間 2015年11月15日（日）～11月22日（日）
3. 場所 米国（California ISO, WECC, ERCOT, CPUC, DNV）  
※訪問先は一部調整中につき追加・変更の可能性あり。行程は別紙1のとおり。
4. 調査実施者  
同委員会関係者として下表の2名を派遣する。これに加え、本機関職員1名を派遣する。

所属・役職	氏名
同志社大学 大学院理工学研究科 客員教授	合田 忠弘 (委員)
東京電力株式会社 パワーグリッドカンパニー 系 統運用部 系統運用技術グループ マネージャー	荒川 雅昭 (塩川委員代理)

5. 予算
  - ・委員会関係者に係る諸経費及び日当相当額は、本機関職員旅費規程に準じ本機関が負担する。
  - ・本機関職員については、職員旅費規程に基づき支給する。

予算（海外旅費および雑費）：615万円（内訳は別紙2のとおり。）

6. その他
  - ・派遣に関する依頼文発行等の事務手続きは企画部長にて行う。
  - ・委員会関係者に係る費用の精算（予算内に限る。）は総務部長にて行う。

以 上

**【添付資料】**

別紙 1 : 調査行程表

別紙 2 : 予算内訳表